



一日学校公開「情報モラル講習会」から

11月28日(火)の一日学校公開日には、たくさんの方に来校いただき、ありがとうございました。2学期も終盤。様々な行事や日々の学習を通して成長した姿をご覧いただけたでしょうか。

その際、6年生の授業参観は、前橋市教育委員会青少年支援センターから講師を招き、「情報モラル講習会」を実施しました。

講話の中から、いくつかの話題を紹介します。



- 写真を送るのは慎重に。一度アップした写真は削除が難しく、将来まで残る。仲間に送ったつもりが、その人が加わる別なグループに連鎖的に広がることもある。
- メールやチャットでは、言葉が足りない、返信のタイミングがずれる、などで誤解が生じることもあるので注意。知らない人に個人情報を送るのも危険。
- インストールは無料でも、続けると途中から有料になり、課金が発生するゲームは多い。夢中になって止められなくなるなら、インストールしないこと。

こうした危険性をよく理解した上で、端末を使う場所や時間、アクセス先などを子どもと話し合って約束をつくり、守らせることが大切とのことでした。将来、ネットと上手に関わっていくためにも、やはり、顔を合わせた日常の対話、親子のふれ合いが基盤になることを改めて感じました。

避難訓練の実施(安全教育)

1学期の対震避難訓練(5/9)に続き、2学期は、不審者対応(10/16)と火災避難(12/5)の2回の訓練を行いました。

不審者対応訓練では、体育館に模擬教室(6の2)をつくり、警察官OBの方が不審者役となって侵入する形で行いました。



- 学級担任が不審者の気を引きつけながら子どもたちを逃がす。
- 子どもたちはすぐに不審者から離れ、他の教員へ緊急事態を知らせながら素早く逃げる。
- 他の教員は児童の誘導と警察へ通報、サスマタ等を持って駆けつけ、協力し合って不審者に対応しながら警察を待つ。

等の一連の動きを確認しました。

火災を想定した避難訓練では、理科室から出火を想定、防災頭巾やハンカチを使用し、煙の中でも安全かつ敏速に避難する訓練を行いました。職員は、校内の連絡体制、児童の避難経路と指示、避難後の確認と報告の流れを再確認しました。

お…おさない
は…はしらない
し…しゃべらない
も…もどらない

これらの訓練は、日常忘れがちな災害や危険への意識を高め、備えを確認するためにあります。子どもたちも真剣に参加する中で、避難経路や「避難の『おはしも』」など、身を守るために自分が必要としないことを改めて確認できたようでした。

今後も、危機意識をもって災害に備えていきたいと考えます。